

# 豊中市における森林環境譲与税の活用について

## ■活用状況（全体像）

（単位：円）

区分	令和元年度～ 令和4年度	令和5年度	計	基金積立額 (令和5年度末)	基金積立額の活用方法
譲与額	121,561,900	42,294,000	163,855,000	52,414,100	後年度に実施を予定している 公立こども園や（仮称）南校 の整備時に国産材を活用予定
充当額	69,146,900	42,294,000	111,440,900		

## ■令和5年度の活用状況

（単位：円）

区分	事業名	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林保護	自然環境保全事業	39,794,700	38,513,619	風致保安林機能を更に発揮させるための法面整備や倒木対策を実施。
普及啓発	地球温暖化防止地域計画 の推進	3,662,681	3,662,681	環境教育・学習を推進するため協定を締結した能勢・隠岐の島両町で、市民向けの自然体験型環境学習を実施。
木材利用	環境交流センター施設管理・運営管理	117,700	117,700	市民スペース用に、能勢産材の円卓とおままごとキッチンを購入。
基金積立		0	0	
合計		43,575,081	42,294,000	

## ■令和5年度の事業内容（詳細）

### ①自然環境保全事業

平成29年の台風被害により、倒木等の甚大な被害が発生した市内唯一の森林である民有林（2ha）において、複数年かけて再生並びに風致保安林としての機能を更に発揮させるための整備を行った。（令和5年度にて完了）



整備前  
(2019)



整備後  
(2023)

### ②地球温暖化防止地域計画の推進

両町の豊かな自然を活かし、能勢町では丸太切りや間伐等の現地体験を、隠岐の島町では工作体験や現地見学等を実施。

実施後のアンケートでは、これまでと違った視点で環境について考えることができるようになった、森林環境保全の重要性を意識するようになった、という意見が多く、子どもを通じて大人の意識向上もみられた。



(能勢町間伐体験)